

【新連載 知っておくと、お得情報】
正しく把握していますか、受験者の言語能力を？
到達度を数値で見なければ、本当のことは分からない？！

- 「ちょっと待てシリーズ」を終えて、今号からは【知っておくと、お得情報】を連載することとした。
その理由は、現場職員等から教育指導や対応方法等について、「具体的な方法を教えてほしい」という声が弊社に、多数寄せられているからだ。
- 特に、受験者に対する【言語能力の評価】が、現場職員と管理者との間に、大きな「評価の開き」があるために、受験者の言語の評価が誤ってしまっている。
- どちらの評価が正しいのかは、能力を数値化していないため、能力に対する判断が問題となっている。だから、この問題を解決する簡単なチェック法と、チェック項目を分かり易く、本号でお知らせする。
- なお、チェックをする場合は必ず、「管理者と担当者」とが複数で評価することが絶対必要だ。なぜならば、受験者に身近な担当者ほど、主観的な評価になり、正しく能力判断ができないからだ。

I、【受験者の言語能力をチェックしてみよう！！】

	【チェック内容】	できる	できない	【言語能力の種類】	
1	「分かりました」と返事したが、その通りに実行できるか。			「受動的言語能力」 「能動的言語能力」 「音声言語」 「文字言語」 聴解力 要約力 口答言語力 構文力 専門知識	
2	決められた時間通りに業務ができるか。				
3	朝礼や会議の時に、その内容を聞き取って理解しているか。				
4	伝言を頼んだら、正しく伝言できるか。				
5	朝礼や会議等で決めた内容をメモできるか。				
6	介護・看護の技能を正しく実行できるか。				
7	分からない事がある場合に、質問してくるか。				
8	業務報告を正しく報告できるか。				
9	業務結果を業務日誌に正確に書けるか。				
10	自分の意見を正しい日本語で言えるか。				

※1 チェックの仕方は、「できる・できない」の欄にレ点を記入して、右側の【言語能力の種類】を確認すれば、受験者の言語能力が把握できる。

※2 1～4までの内、3項目以上「できる」であれば、日本人の6歳児レベルの言語能力。
5～10までの内、4項目以上「できる」であれば、日本人の10歳児レベルの言語能力。

※3 受験者は、今まで3,000時間以上の日本語教育を受けている。そのため、1～10項目の内、6項目以上ができなければ、言語能力が身につけていないと言える。

※4 【国家試験受験能力】は、日本人の16歳（高校1年生）以上の言語能力がなければ、受験しても、試験問題を「読解」する能力がないために、合格は困難と言える。

II、【どうすれば言語能力が、日本人の高校生レベルになるのか？】

1、「教育段階を飛び越えては、言語能力は構築できない」

- 右表をみれば、一目瞭然の通り【基礎言語能力】がなければ、【生活言語能力】は養われない。即ち、家造りと同じで土台となる基礎工事がしっかりしていなければ、建てた家も「砂上の楼閣」になってしまうことは当然だ。
- 言語教育においても全く同じことが言え、まずは、しっかりと土台作り、即ち、【基礎言語能力】を養い、次にその土台の上に【生活言語能力】の家造りをすることは、当然の手順だ。最後の【職域言語能力】は、受験者によって職種の違いにより、領域が異なるため、それに合わせた専門教育をする必要がある。

※ 言語教育は【易しいものから難しいものへ】と、【覚えさせるのではなく、理解させる教育】の原則通りに行うならば、右表の図と同じ手順をとることで、合格率が高まることになる。



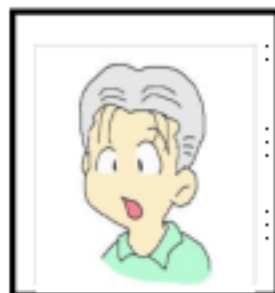
2. 「体系的な学習と、職場での指導が全てを決定する」

- ア 「体系的」とは、学習段階に関連性を持たせた知識の習得方法だ。【学習計画】に基づいて、段階を上げるように、その言語を習得させ、最終目的の職域言語能力を養うことだ。
- イ 国家試験受験能力を養うためには、「学習したものを現場の業務で体得させる」ように教育方針を作り、「学習の成果は必ず役立つ」ことを実感させることが、最も重要な指導方法だ。

- ウ 例えば、具象語から抽象語へとか、日本人の中学生レベルの言語能力から、高校生レベルの言語能力へ移行することはできる。しかし、小学生から高校生の言語能力への移行は無理があり、大脳が混乱してしまう。
- エ これを無理やりに行えば、受験者の大脳は、体系的な言語能力が養われないと同時に、学習意欲が減退して、帰国等に繋がる。

Ⅲ、【受験者の表情などに、だまされやすい日本人】

- 日本人社会は「約束事を守る社会」として、長い歴史がある。しかし、世界では必ずしも【日本の常識は、世界の常識ではない】と考える必要がある。また、日本人は「何事に対しても真剣に取り組む性格」を持っている。
- 受験者の母国の文化と社会常識は、日本とは大きく異なることを認識するべきだ。即ち、受験者の反応や表情は「必ずしも真実ではない」と、常に意識した対応が必要だ。もし、この意識がなく、対応した場合には、必ず期待を裏切られる。



Ⅳ、【受け入れ機関の人財育成姿勢が、国家試験合格率に甚大な影響を及ぼす】

A型 人財育成型機関 <専門家との協調重視>

1. 「3年間学習計画」に基づいて、言語教育と現場教育を組み合わせ、成果を出している。
2. 「学習支援金」を正しく使用し、言語教育は専門家に依頼して、客観的な成果を上げている。
3. 現場教育では、管理体制が整備され、常に厳しい対応と指導を行い、その効果を出している。
4. 受験者を有能な労働者として扱い、一定の責任ある職務を与えて、労働意欲を向上させている。

- A型は、現在及び、将来の労働力不足を計画的に解消していく経営方針が表れている受け入れ機関だ。EPA受け入れの姿勢は、受け入れ機関の経営体質を表しているとも言える。
- 即ち、労働者に対する対応方針の表れとも言え、EPA受け入れで表れた姿勢は、日本人労働者に対する労務管理から発生したものと、捉えることができる。
- よって、このA型タイプの受け入れ機関は、将来起こりえる過大な労働力不足社会にも、対応できるだけの体質を兼ね備えていると言える。

- B型は、EPA受け入れ前から労務管理が円滑にいかず、常に、慢性的な労働力不足を経験していると言える。その理由は、日本人労働者の確保や待遇などに問題があるために、労使間では「馴れ合いの管理や、家族経営的な管理等」が内在されており、常に、問題が起きている機関と言わざるを得ない。
- EPA受け入れ制度を将来の人材確保の有効な手段とは考えずに、当面の労働力を外国人で賄うという、安易な経営方針が、明確に表れている。さらに、「学習支援金」の流用が、経営体質を明確に表している。この経営方針では、将来の存続が危うい経営状態だ。

B型 非人財育成型機関 <内部処理で協調なし>

1. 表面的な「学習計画表」を持っているが、実態は計画に基づかず、放任の教育をしている。
2. 「学習支援金」は、備品などの項目で他に流用して、受験者の学習支援に使用していない。
3. 現場教育は、型通りの教育を行い、単純労働を中心に行わせて、労働意欲を削いでいる。
4. 受験者を単純労働者として扱い、在日期間だけ使えば良い(使い捨て)の姿勢で経営している。

Ⅴ、【受験者の言語能力を、言語技能別に数値化することが、絶対必要】

- 日本語教育の専門家は、必ず受験者の言語能力を【数値化する能力】を持っている。しかし、自称日本語教師や、日本語学校や、専門学校では、【数値化する能力】がなく、「主観的な評価」をするだけだ。
- 即ち、右表【言語技能の種類】自体を把握できておらず、また、数値化する能力をも、持ち合わせていないのが実態だ。

- 【言語技能】を評価するためには、マークシート形式の試験では、その能力が表面化できないために、「構文式試験」で評価する必要がある。しかし、一般的には、「構文式試験」は、採点に人手が必要で、実施できていないのが実状だ。
- よって、正確な受験者の言語能力到達度を把握するためには、「構文式試験」を実施する必要がある。

【言語技能の種類】

- | | |
|----------|---------|
| 1 瞬時反応能力 | 6 読解能力 |
| 2 文字認知能力 | 7 語彙能力 |
| 3 文体能力 | 8 文意能力 |
| 4 助詞能力 | 9 文脈能力 |
| 5 構文能力 | 10 要約能力 |

今からでも 遅くない！！

- 受験者の言語能力を客観的に把握しよう。
- 「言語能力の到達度」が把握できなければ、正しい現場教育は、絶対できない。

無料で受けられる「10分間テスト」の評価を利用しよう！

<特徴>

- ① 受験者の真の言語能力の姿がよく分かる
- ② 字形判断から、性格や精神状態まで分かる
- ③ 実態把握できれば、必ず教育指導に役立つ

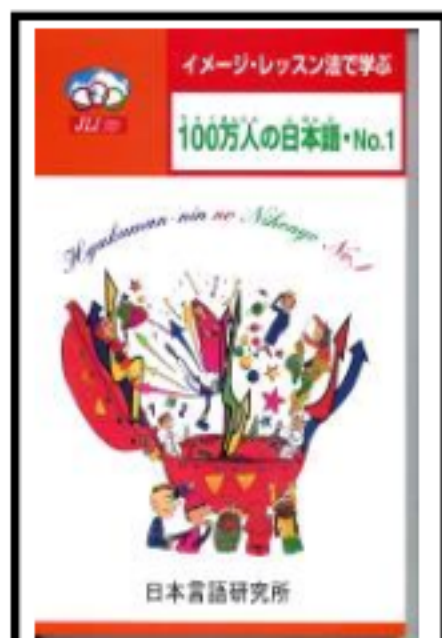
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

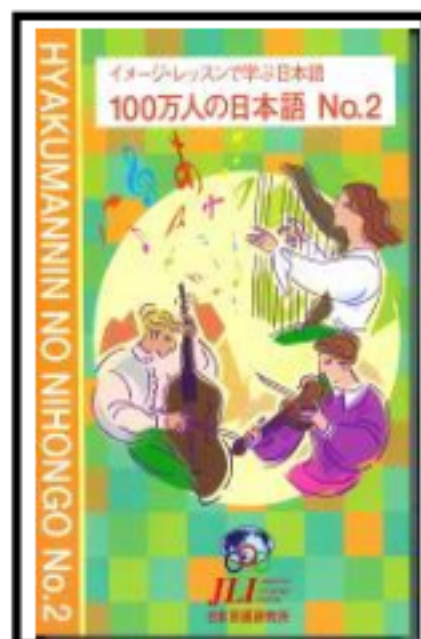
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

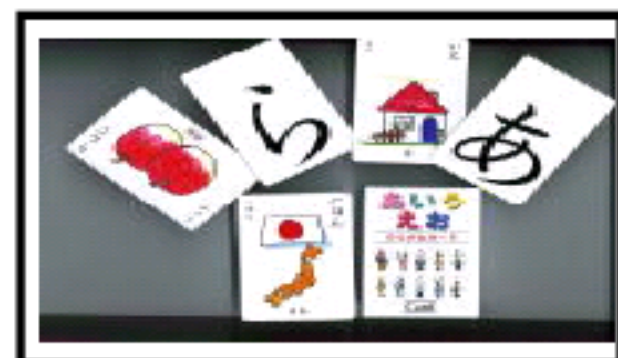
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

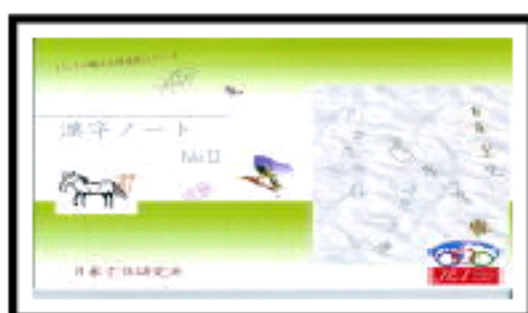
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一
年
目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二
年
目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三
年
目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		